

甲南大学設立の趣旨と教育基本方針

1918年に財団法人甲南学園私立甲南中学校を設立、旧制甲南中学校（1919年開校）、旧制七年制甲南高等学校（1923年開校）を母体に、1951年甲南大学が誕生しました。

学園創立者平生鈞三郎は「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する」と甲南の建学の理念を高らかにうたっています。平生はまた、「たんなる知識の増大でなく、胆力気力の涵養に意を注ぐ教育」を唱導するとともに「健全なる常識を持った世界に通用する紳士（淑女）」の育成をめざしました。甲南大学はこの建学の理念を受け継ぎ、現代に生かす「人物育成の教育」をめざし、以下のとおり学士課程における〈教育基本方針〉を定めています。

なお、2019年4月には、甲南学園は創立100周年を迎えました。



学園創立者 平生鈞三郎



校章の由来

甲南は六甲山の南にあり、その六甲の甲にちなむ“かぶと”の鍬形は、旧制甲南高等学校の校章にならい、これに大学の文字を配した。

■ 甲南大学（学士課程）における教育基本方針

甲南大学は、世界的研究・教育拠点をめざす学部・研究科や研究者・高度専門職業人の養成をめざす研究科・専門職大学院もある総合大学です。

大学の教育方針の根本には、学園創立者平生鈞三郎が主唱した「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」、「世界に通用する紳士・淑女たれ」という建学の理念があります。この理念のもと、甲南大学は、教養と専門とのバランスを大切にしながら人物重視の教育をおこない、良質な社会的常識・倫理観・品格を備え、自ら率先して社会に貢献できる専門性を持った人材の養成をめざします。

KONAN INFINITY

—甲南らしさを表すシンボルマーク—

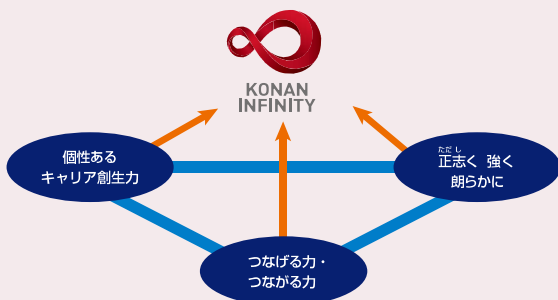


甲南大学の魅力をわかりやすく一言で表現するために、2014年度に KONAN ワンワード・プロジェクトを実施し、学生・教職員の投票によって「KONAN INFINITY」が選ばれました。これは、さまざまな出会いや発見によって日々成長し、「無限大」の未来が広がっていくキャンパスライフをイメージしたものです。このワンワードを躍動的かつ奥行きのあるフォルムにデザインしたのがこのコミュニケーションマークです。

KONAN U.WAY

—世界に通じる人物をめざして—

「ヨキカラダ ヨキ考工 少シデモ 世ノ中ニ ツクシウル 人間ニ ソダツテ モライタイ」。そのために「画一的ナ教育ヲ サケ 個々ノ 人間ノ 才能ヲ ノバシウル」教育。これこそが、創立者・平生鈞三郎や、創立に深くかかわった伊藤忠兵衛など錚々たる人物たちから現在に伝わる、そして現在に生きる教育理念です。これを KONAN U. WAY (Becoming a Person the World Can Trust) として三つの指針にまとめました。KONAN U. WAY とは、甲南大学に学ぶ学生・教職員が常に心に留めるべき共通の理念であり、自己の成長と飛躍を図るために日々参照すべき行動指針です。この三つの指針を胸に秘め、皆で可能性を無限大に広げる未来につなげます。



◆ 個性あるキャリア創生力を涵養する

他者を敬い、礼儀・マナーを重んじ、健全な常識を培い、人格を形成するとともに、一人ひとりの天賦の特性を活かし希望を創り生みだし、その目標にむけ日々努力する。

◆ つなげる力・つながる力を育む

共に学び、成長する場を大事にし、リーダーシップ(人をつなげる力)・共働互助(人とつながる力)を培う。

◆ ただし 正志く強く 朗らかに

周囲環境のどのような変化にも志を貫き大局の打算を誤らず、的確柔軟に対応していくよう心掛ける。